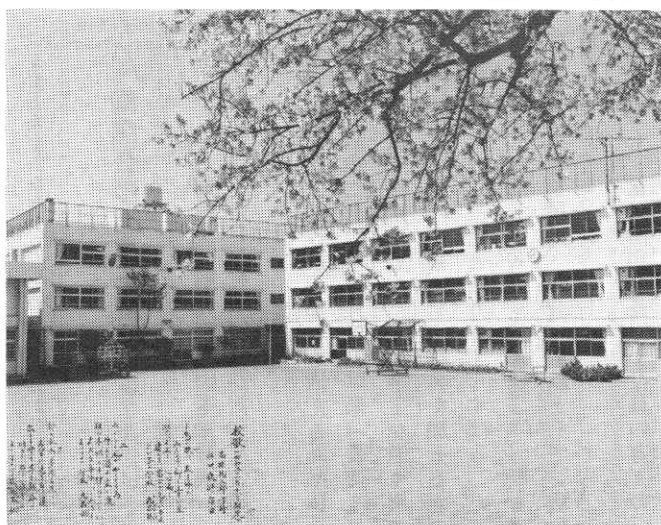




九品仏小学校同窓会だより

◎ 年度総会のお知らせ

平成三年の年度総会を左記のように開催いたします。各期幹事の方、日頃のご協力ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

同期の方への連絡・名簿の整備・会費の納入勧誘ご苦労様です。

今年の年度総会の日程が決まりましたのであらかじめお知らせいたします。

記

日時 六月十六日(日)午後一時～
場所 九品仏小学校

尚、三十八期の皆さんには当日卒業アルバムの配布があります。是非ご出席下さい。



◎ 「同窓会だより」によせて

副会長 佐原 学

同窓会は、ゆっくりではありますが、一歩一歩、確実に歩みを進めています。今年卒業の第三十八期生七十四名の新入会員を迎え、四千三百四十三名の会員になりました。

小学校時代の、素直な気持ちを一杯持ち合わせている時に卒業した学校なので、中学、高校と比べて、学校に、地域に、より深く融け込んでおり、思い出も多く、心に強く刻まれていることと思われまふ。

「同窓会だより」を受取られ、現在の母校の様子を知って頂き、小学校時代のそれぞれの楽しいそして、ほろ苦い思いを懐かしんで下さい。これを機会に、多くの同窓生が同窓会、クラス会を開き、旧友との楽しい語り合いの内容を同窓会事務局までご連絡下さい。

尚、今年度より小学校同窓会担当の先生が、左記の方々に交代いたしましたので、お知らせします。

箭内 清司(三年一組担任)
稲葉 幸子(四年一組担任)

No. 4
3. 5. 25
発行

世田谷区奥沢八一十二ー一
世田谷区立九品仏小学校同窓会
TEL 〇三三七〇三 〇四五八
発行人 会長 富田 浩司

H.3.4 現在
同窓会員総数
4343名

同窓会の発展を祈念して

前校長（第九代）山本 菊哉

平成四年度に開校四十周年を迎える九品仏小学校、昭和二十七年四月開校以来（最初は五年生が最上級生でした。）卒業生を送り出し続け、本年度の卒業生七十四名を加えると総数は四、三四三名となります。すばらしいことです。第一回の卒業生の皆様は、^{よわい} 五十才の太台を越え、社会の重鎮として活躍です。

同窓会も、富田浩司会長以下役員の方々のご苦労によりまして、順調に運営されております。ご同慶の至りと思っております。

子ども達にききますと、お父さん、おかあさんが九品仏小学校を卒業しているという方がだいぶおります。親子二代同じ学校に学ぶわけです。先生や子ども達は、年々オタ移り変わりますが、教育は受け継がれ続けます。三年間でしたが、九品仏の教育の営みに参加できたことを嬉しく思います。

最後の学校

（三年担任）五十嵐貫治

六年間お世話になりました。その間五、六、三、四、三、三年と担任し、楽しい毎日をごすことができた感謝しております。

昭和六十二年が三十五周年でしたので、私がきたころ同窓会を作ったというお話があり、お手伝させていただき第一回の同窓会の総会を開いたことを思い出します。

私にとって教員生活最後の学校になったのですが、いろいろな面で生涯忘れられないことが多くあり、皆様に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

同窓会に寄せて

（養護教諭）麻生 和子

九品仏小では九年間お世話になりました。またたくまに過ぎ去った感じがします。落ちついた街のたたずまい、知性と人のぬくもりを感じさせるこの街、この学校は素晴らしいと去ってさらに、その感じを深めています。私が九品仏小に赴任して五年目ぐらいに開校三十数年目にして同窓会が発足されたと記

憶しています。おおくの人の待ち望んでいた、発足だったと思います。まだ若い、この会、ますますの発展を心から、おいのりしております。

ありがとうございました

（六年担任）高久 仁

教員になって満十五年がすぎました。その中の十年間を、ここ九品仏小学校で過ごすことができた幸せを強く感じる今日この頃です。本校では、自分が考える実践を思いきりすることができ、本当に充実した毎日でした。それは、何より地域・保護者の方々の御理解・御協力があつたからと感謝しております。十年間、たいへんお世話になりました。これからの同窓会の御発展を、心よりお祈り致します。

長い間お世話様になりました。

今後の先生方のご発展とご活躍をお祈りしております。

いつまでもお元気で。

九品仏小を想いおこすままに

伊藤 園生



私が音楽の専科ですごした十二年間は、昭和廿八年から卅九年の春まででした。

創立二年目で学校も一段落したところでし

た。湯浅校長、石川達三PTA会長、地元の名士、毛利博一様（白いおひげ姿で行事の際には参列された）続いて熊沢、外川（校医）浄真寺の清水御住職、黒川歴代会長、他皆様方の並々ならぬ御尽力で九品仏小は成長発展しつづけました。児童数の増加で、一年生は二部授業をやり、新設校の等々力小、その後玉堤小へと分かれていきました。プール、体育館もまだなくて、八幡中で泳がせてもらったり、学芸会、卒業式等は二階の打抜教室で行いました。自由ヶ丘まで映画鑑賞に行き、桜並木（環八）の桜のトンネルをくぐって、等々力不動や又浄真寺の写生会、お寺の裏には大池がありました。オリンピック競技を駒沢まで見に行きました。先生方も二十代が多く、若々しく、教職員の地区運動会では優勝を続けました。

さて、音楽の方とは云うと、児童の質が良く、合唱コンクールを受けたり、NHKの当時の学校放送番組で元氣よく、はつらつとした歌声にアナウンサーがびっくりしてました。

楽器もだんだん揃い、ハチャトリアンの「剣の舞」や「バラの乙女たちの踊り」などレパートリーでした。鼓笛も盛んで名物になりました。

お母様方も熱心にコーラスをやらせ、TVで発表したりしました。当時の皆様お元気でしようか。

先日千歳船橋で大峰さんに声かけられ、相変らず昔のままでなつかうございました。

卒業生の皆様方は各界で責任のある立場の年令になられ、今後ますます御活躍の程祈ります。健康に留意され後輩に良い足跡をのこして下さい。近況を云うことで、私は現在区内の京西小で嘱託で音楽を教えて居ります。同窓会の富田会長以下、御世話下さる皆様様に厚く御礼申し上げます。平成三年三月（写真は昭和33年当時のアルバムより）

母校の近況

教頭 丸山 延子

去年一年間をふり返ると子どもたちの真剣なまなざしで取り組む姿が目に見えます。学芸会の年でした。舞台で大きな声でセリフが言えたこと、役になり切って大きな動きができたこと、この満足感と自信をバネにして子どもたちはがんばっています。

第二回管楽器発表会に参加して

音楽専科 赤松 慧子

九品仏小学校音楽クラブでは、平成元年度から金管バンドを編成し、練習しています。コレネットからバスチューブまで大小合わせて十九本の小編成金管バンドです。最初の年、第一回発表会に参加しましたが、練習をはじめたばかりのよちよち歩きというところでした。今年度になってメンバーも多くなり少し慣れてきたので、運動会や交通安全親子のつどいでも伴奏を担当することができるようになりました。

九品仏小学校では、二十年も前から、トラ



ンペットなどの管楽器があり、ユニークな音楽活動をしている学校として知られていましたが、その伝統を受け継いで、今度は金管フルバンドをつくることができました。

管楽器の練習は音を出せるようになるまでが大変なのですが、少し吹けるようになるまで同じ種類の楽器の集まりなので、音も合わせやすく、合奏も楽しくなります。練習はクラブ活動の時間を中心に行い、行事に参加する時には放課後や朝などにも練習しています。

今回の世田谷区管楽器発表会では、魔女の宅急便から、「晴れた日に」と「ルージューの伝言」を演奏しました。練習の始めは、音が揃わなくて、一ヶ月位は同じところを何度も何度も練習する辛い時期もありましたが、だんだんできるようになると、練習も楽しくなります。発表会ではのびのびと演奏することができ、子どもらしい演奏ということで好評を得ました。子どもたちも他校の演奏を聴くことで、新たな音のイメージを持つことができましたのではないかと思います。

三十二人のサケ博士

現六年二組担任 羽田野 泰江

十二月の初め、教頭先生から「サケの卵を育ててみませんか。」と声をかけられ、子供達に相談したところ「育ててみたい。」と、みんな大喜び。さっそく、水そうの準備・水

温の調節をし、サケの卵がくるのを指折り数えて待ちました。

十二月十五日 オレンジ色のキラキラ輝く丸いツブツブの卵を見て、みんなびっくり。「きれいだ」「かわいい」「おいしそう」初対面の感想はみんなそれぞれ、その日からみんなサケ博士になりすまし、各自観察日記を用意し、毎日始業時間前に成長の記録を始めました。

△観察記録から▽

オレンジ色のような赤のような色 白っぽくも見えた。中に赤ちゃんらしいものが見えた。このふくろの中に栄養分がたまっているのかな……。

積算温度が四百八十度になると「ふ化」するそうです。放流の関係で大きくなると困るというところで水を入れて水温の調節をしました。十二月十四日、みんなが登校してくるころ二、三匹がふ化し始めました。「あつ、動いている」「やったーサケが生まれた」みんな歓声をあげました。ふ化の瞬間、生命の誕生を目の当たりに見て、少し興奮気味でした。この日で積算温度は四百九十一度でした。

生まれたばかりの稚魚は、おなかのところに大きなオレンジ色のふくろをかかえ水そうのじやりの上に体を横たえています。なんともぶかっような姿ですが、黒い大きな目をしてい



てとても愛嬌があります。

△観察記録から▽

小さいおっぱを一生懸命動かして、水そうの端から端まで泳いでいる。とてもかわいい。

クラス会だより

三十一年度卒(四回生)

旧六年二組クラス会開催報告

四期 山本 武彦

前回のクラス会が昭和五十三年ですから三年ぶりのクラス会となります。四回生六年二組は新校舎での授業が始まりました三年から五年まで平間先生のお世話になりましたので、平間先生に御出席をお願い致しました。

出席できる方が少なくても、ともかく再開第一回はやってしまおうということで平間先生御推薦の自由が丘「かねだ」で三月二十一日予定通りクラス会を開きました。

四十八人のクラスメートのうち最新住所が把握できたのは二十一人でした。卒業後三十四年という年月の長さを改めて感じました。彼岸の中日の家庭行事、子供さんの受験、等と重なって、十人は転居経歴、家庭、仕事、趣味等をメモした「近況報告シート」の提出となり、出席した旧生徒は十一人で、ささやかな会になってしまいましたが、平間先生は



元生徒の誰よりもお元気でしたし、秋田の大富君から特別寄贈の銘酒は飲むのがもったいないくらい美味しく、遠く宇部から木下さんが出席して下さいました。アメリカ在住の神林君とは電話連絡が取れました。

当時の作文集、写真を見ながらの思い出話、両親、子供の事、高血圧?など体の調子など、やはり年に応じた話に時間のたつのを忘れました。

このクラス会により新たに五人の最新住所がわかり、来年も同じ日時同じ場所で開催く

とを約束して一次会を開きに致しました。

(出席者) 敬称略、旧姓

平間先生、井上、大石、加藤、金田、小松真一、平沢、増田、山本、岩尾、木下、鈴木
(近況報告シート提出) 敬称略、旧姓
大富、神林、福島、日原、安藤、大沢、熊沢、富岡、牧、宮島

二十二回生同窓会を開いて

二十二期 島(西山)容子

昨年十二月六日、二十二回生の同窓会を自由ヶ丘にて開きました。一・二組合同は、初めてのことです。卒業時の吉田先生、四年生の時の井上先生、五年生の時の厚地先生をはじめ、総勢三十二名。予想を上回る出席でした。

「元気?」「今どうしてるの?」で始まり、話は尽きません。又、大勢の教え子がいらっしやる先生方が、一人一人のことを、いろいろ覚えていて下さったことには、感激いたしました。二次会には、ほとんどの人が、そして、その八十%の人が三次会にまで繰り出し、お開きは、午前三時近くになりました。

新しい名簿も出来、今まで音信不通だった人との年賀状のやりとりの、きつかけにもなりました。次回は、三十歳という大台に乗った時に行う予定です。会を開くにあたり、多くの方に御協力いただき、ありがとうございました。



来年は創立四十周年になります。
各期・クラス会がたくさん開催される事を期待しております。

尚開催された方は、写真、記事などを係までお知らせ下さい。

又、「同窓会だより」の名称を、募集しております。ふるってご応募下さい。お待ちしております。

編集に協力して頂ける方も随時募集しております。お気軽にお電話下さい。

連絡先 (三七〇三) 八〇三〇 (富田)

同窓会に寄せて

十五期 山崎 英久

私が九品仏小学校の同窓会のお手伝いを始めて五年余りが過ぎました。当時の浅子校長先生をはじめとし富田会長や一・二期の皆様、そして各期の幹事さん達の同窓会発足への熱意につられ、卒業生として何かお手伝いしたいという思いで参加してきたわけです。在学当時学区外に転居したこともあり、卒業後同窓生とは自然と遠縁になりがちだった私にとって、現在まで親交の厚い友人があまりおらず、発足までや発足後も同窓会幹事としての仕事があるにまかせず滞ることが多かったことを、この場をかりておわびしたいと存じます。ただ、一度クラス会を開く機会を得たことは、名簿作成時のこともあり大変恵まれていたと思います。我々十五期生は年令的に男女とも社会や家庭の中心的存在となりつつあります。忙しさのためや、連絡がとりきれなかったこともあり、参加人数は若干少なかつたようですが、久しぶりの再会、先生も含め清涼剤であつたように思います。人が一生のうちで出逢える人数は限られた数であります。だからこそ、その人達との関係は様々な意味において大切にしたいと思うし、またそこから新しい人達との出逢いを期待したいと思うのです。ですからクラス会や同期会の

ような機会は昔をなつかしむこともでき、ぜひ、これからも声をかけあっていきたいと思うのです。

ところで同窓会発足より三年が過ぎようとしています。その後の十五期生の活動はまだ行なえず残念であり、また申し訳なく思っております。そこで卒業二十五年目を目安に集まれる会をもてたらと思っておりますがどうでしょう。声をかけあつて協力をお願いいたします。最後になりますが九品仏小学校及び同窓会の益々のご発展をお祈りいたしております。

通信欄

一期 田中(富岡)朗子

会報、なつかしく読ませて頂きました。来年度の同窓会には出席出来る様に願っております。これからもよろしくお願い致します。

二期 斉藤(本橋)則子

六年二組、森さん、加賀さんクラス会を開いて下さい。

三期 柳生 直宣

クラス会だよりで三期の市川君のたよりが

出ていました。近くで友人だったのでなつかしく読ませてもらいました。

四期 茂木(中野)裕子

小池先生、飯田先生大変なつかしかったです。

四期 大富 武

小生二組、平間学級でした。

あれから三十五年、早いものです。遠くにおりますので、何のお手伝いも出来ませんが宜しくお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様へお願い

四回生旧六年二組二十二人の最新住所が不明です。もし手掛りをご存じの方がありませんら、TEL三七〇五―〇五三一 山本まで御一報頂ければと存じます。

荒木 郁男、伊谷征四郎、宇佐美 勉、小川 一治、北岡 常彦、小松 謙介、斎藤 高男、斎藤 正男、佐々木洋一、橋本 勝晴、本山 彦平、石川とよ子、伊藤 幸子、小沢 幸子、白井 保子、中平日出子、行方 弘子、福田 清子、藤枝 君子、前田智恵子、馬場 桂子、村井 幸子

●維持会費納入方法

会運営を円滑にするため、是非ともよろしくお願い申し上げます。

一、維持会費 年額一〇〇〇円

(但し二十才未満会員は免除可)

規約上の原則は上記の通りですが、二口以上の納入も、又、未成年会員の納入も、可能な範囲でよろしく願います。

二、特別寄付 年額 随意

「同窓会」設立に伴う活動資金の充実のために維持会費の上乗せのとして是非協力下さい。

三、納入方法

・振込先 九品仏小学校同窓会 口座
郵便振替口座 東京0-22010
又は、東京都民銀行 九品仏支店

普通0313454

(郵便振替の際には用紙裏面の通信欄に卒業年度又は期別を記入して下さい)

四、終身会費制度を検討中です。

ご意見がございましたら、ご連絡下さい。

住所、電話番号等の変更のあった方は同窓会までご一報下さい。

●活動報告にかえて

会長 富田 浩司

同窓会も結成後四年目に入り、会報も第四号をお届け出来るようになりました。会員の皆さんからの維持会費・寄付も着実に増えて毎年の会報発行と全会員への継続配布と、各期の同期会、クラス会等の開催支援を、基本目標に、今後共、着実な活動を進めて行きたいと思っています。

平成二年度は、創立三十八年に当る年でしたが、入学式へのお祝いの言葉の打電、運動会、学芸会への役員出席、授業参観への参加の他、卒業式の役員出席等、学校行事への参加を行い、一方、学校長、教頭先生との随時打合せの他、浅子顧問(第八代校長)への報告、連絡も絶やさずに行いました。

来年(平成四年)は学校創立四十周年になります。各期名簿の再整備、会員への配布を検討しており、各期会、クラス会の多数開催を積極的に推進したいと思っています。各期幹事の方、有志の方、旧担任の先生とも連

絡をとって、是非、開催への努力を、重ねてお願いいたしておきます。

尚、最後になりましたが、同窓会の平成二年度総会は六月十七日に開催され、三十七期生の多数参加の他、当日、同期会を開いた一期生の参加を中心に、議事が進行し、規約の入会金改訂(五百円↓千円)を可決しました。

以上、概略、ご報告し、引続きのご協力、ご支援をお願いして、活動報告にかえたいと思います。

計 報

永井千恵子先生(平成二年五月二十九日)
慎んで御冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

「九品仏小学校同窓会だより第四号」を発行にあたり、お忙しいなかを原稿をお引き受け下さいました諸先生方をはじめ、会員の皆様には心より感謝いたしております。紙面をもちまして御礼申し上げます。慣れぬ広報紙作りでとまどうばかりでしたが何とか出来上がりホッとしました。

同窓会広報部一同